

外務省・国際移住機関共催シンポジウム
「国境を越えた人の移動」
－経済連携協定と外国人労働者の受け入れ－

報告書

2004年7月27日

外務省経済局
国際移住機関(IOM)東京事務所

はじめに

外務省と国際移住機関（IOM）の共催による「国境を越えた人の移動-経済連携協定と外国人労働者の受け入れ」と題したシンポジウムが 2004 年 7 月 27 日、国連大学ビル、ウ・タント国際会議場において開催された。本シンポジウムには外務省、IOM の関係者のほか、経済界（日本経団連）、労働界（連合）、外国人労働者を多く受け入れている地方自治体、外国人看護師受け入れ実績のある病院、有識者、及び外国人労働者の送出国であるフィリピン、タイの関係者らが出席した。約 300 人の聴衆やマスコミ関係者の参加を得て、日本における外国人労働者受け入れの現状や各界の意見・要望、また西欧諸国の経験をも踏まえつつ、日本がアジア諸国との間で交渉中または交渉を開始する可能性のある経済連携協定において、「人の移動」をいかに扱うべきかについて活発な議論が行われた。

目次

| | |
|--|----|
| I. プログラム | 1 |
| II. モデレーター・パネリスト紹介 | 3 |
| III. 発言要旨及び討議内容 | 7 |
| 開会の辞 | 7 |
| 経済連携協定と「人の移動」－日本はどう対処すべきか－ | 10 |
| 外国人労働者の受け入れ－課題と展望－ | 30 |
| パネル・ディスカッションⅠ： 「専門職業従事者の受け入れ（看護・介護分野を例として）」 | 30 |
| パネル・ディスカッションⅡ： 「国内の受け入れ環境をめぐって」 | 36 |
| 閉会の辞 | 43 |
| IV. 英文要訳 | |
| 附録：当日配布資料 | |